

バッハ・コレギウム・ジャパン

BACH
COLLEGIUM
JAPAN

バッハ：教会カンタータ・シリーズ Vol.68

貧しき者は、食して満ち足り

～三位一体後第一主日のカンタータ～

J. S. バッハ：

コラール《来たれ、聖霊、主なる神》BWV 651

《来たれ、聖霊、主なる神》BWV 652

カンタータ「おお、永遠、汝、雷の言葉よ」BWV 20

「割いて与えよ、飢えた者たちにあなたのパンを」BWV 39

「貧しき者は、食して満ち足り」BWV 75



指揮／オルガン独奏：鈴木雅明
Masaki Suzuki, conductor / organ solo

ソプラノ：松井亜希
Aki Matsui, soprano

アルト：青木洋也
Hiroya Aoki, alto

テノール：櫻田 亮
Makoto Sakurada, tenor

バス：ドミニク・ヴェルナー
Dominik Wörner, bass

合唱・管弦楽：バッハ・コレギウム・ジャパン
Bach Collegium Japan, chorus & orchestra

©Marco Borggreve

第230回神戸松蔭チャペルコンサート

2014.5.31(土) 3:00PM (開場2:30PM)

神戸松蔭女子学院大学 チャペル

〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町1-2-1
神戸松蔭女子学院大学キリスト教センター 078-852-6124

◎一般発売3月29日(土)

1階指定：¥8,000 (ペア前売：¥15,000 BCIチケットセンターのみ取扱い)

2階立見席：¥4,000 (限定30席)

バッハ・コレギウム・ジャパン チケットセンター 03-5301-0950

ローソンチケット 0570-084-003 (自動音声24h)

イープラス <http://eplus.jp>

第108回定期演奏会

6.1(日) 3:00PM (開場2:30PM)

東京オペラシティコンサートホール：タケミツメモリアル

◎一般発売2月15日(土)

S：¥8,000 (ペア前売：¥15,000 BCIチケットセンターのみ) A：¥6,500 B：¥5,000

学生：¥3,000 / 要学生証

バッハ・コレギウム・ジャパン チケットセンター 03-5301-0950

東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード 222-041] <http://lpia.jp>

イープラス <http://eplus.jp>

ローソンチケット 0570-084-003 [Lコード 31536] (自動音声24h)

ヴォートル・チケットセンター 03-5355-1280 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催：バッハ・コレギウム・ジャパン TEL 03-3226-5333 (平日10:30～18:00) E-mail: info@bach.co.jp <http://bach.co.jp/>

共催：公益財団法人東京オペラシティ文化財団(東京) 後援：神戸松蔭女子学院大学(神戸)

1723年5月、ライプツィヒへ赴任したバッハの仕事始めは、三位一体節最初の日曜日。以降、この主日はバッハにとって1年の始まりの日となりました。この新年度の始まりを告げるのは、決まっておきの名作カンタータであったことから、BCJ今年度最初のカンタータ・シリーズでは、それらを集め一挙に演奏することにいたしました。

着任後の記念すべき第1作であるカンタータ第75番は、「BACH」の名を示す数字でもある14の楽章から成る大作。ライプツィヒ2年目のカンタータ第20番では、カンタータ全体を一つのコーラルが貫く、バッハ作品の心臓部とも言うべき「コーラル・カンタータ」シリーズの扉が華々しく開かれます。そして4年目の第39番は、この主日の朗読聖書「金持ちと貧しいラザロのたとえ話」が、「貧しい者にパンを割いて与える」様子をリコーダーを始めとする各楽器にモチーフを分け持たせるなど、見事な筆により描かれています。

これら3つのカンタータは、同じ主日、同じ聖書のテーマに基づいているにも関わらず、その音楽は実に多彩であることに驚かれることでしょう。バッハの多彩なカンタータの響きを、みなさまどうぞ再びお楽しみ下さい。

バッハ・コレギウム・ジャパン 鈴木雅明

ソプラノ:松井亜希◎、澤江衣里、清水 梢、緋田芳江
アルト:青木洋也◎、鈴木環、高橋はる、布施奈緒子
テノール:櫻田 亮◎、石川洋人、鏡 貴之、藤井雄介
バス:ドミニク・ヴェルナー◎、加来 徹、藤井大輔

渡辺佑介

オーボエ:三宮正満、尾崎温子

トランペット:ギィ・フェルベ

リコーダー:山岡重治、向江昭雅

ヴァイオリン:若松夏美◎、高田あずみ、荒木優子、

竹嶋祐子、廣海史帆、山内彩香

ヴィオラ:成田寛 秋葉美佳

チェロ:武澤秀平

ヴィオローネ:西澤誠治 オルガン:鈴木優人 他

◎ソリストおよびコンサート・マスター

Photo: Marco Borggreve



鈴木雅明 (指揮)

Masaaki Suzuki, conductor

1990年(バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ))を創設以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博す。グループを率いて欧米の主要なホール、音楽祭に度々登場しており、雄弁かつ透明なサウンド、本質に迫る演奏アプローチで、極めて高い評価を積み重ねている。近年はモダン・オーケストラとの共演も活発に行い、ハイドン、モーツァルト、メンデルスゾーン、マーラー、ストラヴィンスキー、ブリテンなど多彩なレパートリーを披露。昨年3月にはBCJ合唱団、イェール・スコラ・カントールムを率いてニューヨーク・フィル定期にデビュー、同楽団初のバッハ・シリーズ開幕を成功に導いた。BISレーベルへのディスコグラフィは目覚ましく、特にBCJとの(バッハ:教会カンタータ・シリーズ)および声楽作品集には『この歯切れよさ、明晰さ、そして峻厳な精神性の高さ、聴く者の心を動かさずにおかない(タイムズ)』と世界中の批評家から賛辞が寄せられている。神戸出身。東京芸術大学作曲科およびオルガン科を経て、アムステルダム・スウェーリンク音楽院においてチェンバロとオルガンをトン・コブマン、ピーター・ケーに師事。東京芸術大学古楽科を設立し、2010年まで20年にわたって教鞭を執った。現在イェール大学アーティスト・イン・レジデンス、神戸松蔭女子学院大学客員教授。2012年にはドイツ・ライプツィヒ市より、国際的なバッハ演奏貢献に対して「バッハ・メダル」が贈られた。

©藤原栄治



松井亜希 (ソプラノ)

Aki Matsui, soprano

岩手県出身。東京芸術大学声楽科卒業、同大学院修士課程・博士課程を修了。20世紀フランス歌曲研究で博士号取得。在学中に第13回日仏声楽コンクール、第16回友愛ドイツリートコンクールに優勝。しなやかで透明度の高い歌声を生かしモンテヴェルディから現代音楽まで幅広く活躍。近年はBCJメンバーとして多くの公演・録音に参加、代役ソリストを務めたカナリア諸島音楽祭ほか、国内外でのヘンデル、バッハ公演独唱で高く評価され、新国立劇場『ポッペアの戴冠』においても絶賛を博した。

Photo: Ribaltaluce



櫻田 亮 (テノール)

Makoto Sakurada, tenor

声楽を平野忠彦、G.ファブリーニ、W.マッテウツィ、G.バンディッリの名氏に師事。第27回イタリア声楽コンクール、シエナ部門大賞、'02年ブルージュ国際古楽コンクール第2位(声楽最高位)など受賞多数。アカデミア・ピザンティーナ、ヴェニス・パロック・オーケストラ、コンセルレ・ド・ナシオンなど一流の古楽アンサンブル、国内外のモダン・オーケストラ等と多数共演する他、クレモナ音楽祭「ウリッセの祖国への帰還」、エディンバラ音楽祭「オルフェオ」など主要なオペラ舞台でも活躍している。日本イタリア古楽協会運営委員長としてイタリア・パロック音楽の普及に務める。二期会会員。2013年より東京芸術大学准教授。

バッハ・コレギウム・ジャパン (合唱&管弦楽)

Bach Collegium Japan, chorus & orchestra

鈴木雅明が世界の第一線で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストを擁して結成したオーケストラと合唱団。J.S.バッハの宗教曲を中心に音楽作品の理想的な上演を目指して活動し、その演奏は「アンサンブル全体が協和しながら光を放つような響きの美しさ(朝日新聞)」と報じられる。1992年より東京・神戸での定期演奏会を開始、1999年からは海外公演も本格化し、ライプツィヒ・バッハ音楽祭、BBCプロムス、カーネギーホール等での演奏を通じて、年々その評価を高めている。2012年にはコンサートへボウ、聖トーマス教会をはじめとするヨーロッパツアーで成功を収め、昨年3月には合唱団が鈴木雅明指揮ニューヨーク・フィル定期に出演し喝采を浴びた。また3.11にはNYでの震災チャリティ公演を主催。スウェーデンBISより80点に及ぶCDをリリースし、多くの賞を受賞。2010-11年には『バッハ:モテット全集』が欧州3カ国のベスト・ディスク賞を獲得。2012年には震災チャリティCD『Bach for Japan』をリリース。1995年から時系列順で取り組んできた『バッハ:教会カンタータ全曲シリーズ』が、2013年2月に全曲演奏・録音を完遂した。

Photo: Marco Borggreve



©藤原栄治



青木洋也 (カウターテナー)

Hiroya Aoki, countertenor

東京芸術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学で宗教音楽学を学び、在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。ダブリンおよびハレでの《メサイア》、ライプツィヒ・ニコライ教会での《ミサ曲短調》、《クリスマス・オラトリオ》ソリストに招かれ好評を博す。国内外で活動の場を広げており、BCJでは'09年ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン音楽祭《ヨハネ受難曲》、'11年香港公演およびプレーメン音楽祭での《マイ受難曲》独唱で喝采を浴びている。近年は指揮者としても高く評価されている。「バーセル・プロジェクト」代表。



ドミニク・ヴェルナー (バス・バリトン)

Dominik Wörner, bass

'02年ライプツィヒ国際バッハ・コンクール優勝、ライプツィヒ・パロック・オーケストラ特別賞獲得。これまでに、ヘレヴェヘ、リング、コレギウム・ヴォカレ・ゲント、ジャンゼリゼ管弦楽団、バンベルク交響楽団など多くのアンサンブル、オーケストラと共演し、BBCプロムス、タングルウッド音楽祭にも出演。リート作品への造詣も深く、ドイツ・ロマン派作品の演奏を中心に、現代曲の初演なども行うなど、そのレパートリーは多岐にわたる。バッハ・コレギウム・ジャパンとは'05年以來国内外で共演、'07年ドイツでの《マイ受難曲》の歌唱は「深遠なバス」と絶賛された。

※やむを得ない事情により出演者が変更となる場合がございます。ご了承ください。

2014年度 東京定期会員 [5公演セット券] ◎好評発売中

S:¥37,000 A:¥30,000 B:¥23,000

会場 東京オペラシティ コンサートホール

お申込み バッハ・コレギウム・ジャパン チケットセンター

TEL:03-5301-0950 (平日10:00-18:00受付)

第107回 4月18日 [聖金曜日] 6:30 PM

受難節コンサート2014 バッハ: マタイ受難曲 BWV 244

ハンナ・モリソン、松井亜希(ソプラノ)/クリント・ファン・デア・リンデ、青木洋也(カウターテナー)
ゲルト・テュルク、櫻田亮(テノール)/ペーター・コイ、浦野智行(バス)

◎好評発売中

第108回 6月1日(日) 3:00 PM

J.S.バッハ: 教会カンタータ・シリーズ Vol.68

『貧しき者は、食して満ち足り』三位一体後第1主日のカンタータ

《おお、永遠、汝、雷の言葉よ》 BWV 20

《割いて与えよ、飢えた者にあなたのパンを》 BWV 39

《貧しき者は、食して満ち足り》 BWV 75

松井亜希(ソプラノ)/青木洋也(カウターテナー)/櫻田亮(テノール)/ドミニク・ヴェルナー(バス)

◎2月15日(土)一般発売

第109回 10月3日(金) 7:00 PM

J.S. バッハ: 世俗カンタータ・シリーズ Vol.4 『岐路にたつヘラクレス』

《われら心を配り、しかと見守らん》 BWV 213 (岐路にたつヘラクレス)

《とどろけ太鼓、高鳴れラッパ》 BWV 214

ジョアン・ラン(ソプラノ)/ロビン・ブレイズ(カウターテナー)

櫻田亮(テノール)/ドミニク・ヴェルナー(バス)

◎5月24日(土)一般発売

第110回 11月24日(月・休) 3:00 PM

H.シュッツの世界『慈しみは、とこしえに』

H.シュッツ: ダヴィデの詩編歌集より

詩編136編『主は恵み深く、その慈しみはとこしえに』 マニフィカト SWV.468 他

バッハ・コレギウム・ジャパン (合唱・管弦楽)

◎5月24日(土)一般発売

第111回 2015年2月22日(日) 3:00 PM

J.S. バッハ: 世俗カンタータ・シリーズ Vol.5 『汝の死を憶えよ 追悼のカンタータ集』

《神の時は最上の時なり》 BWV 106

《公妃よ、さらに一条の光を》 BWV 198

ジョアン・ラン(ソプラノ)/ロビン・ブレイズ(カウターテナー)/ドミニク・ヴェルナー(バス) ほか

◎9月27日(土)一般発売